

「貫志」～最後の最後まで～

宇佐高 進路だより

No. 2 令和元年 5月9日 発行元：宇佐高等学校進路指導部



5月の連休が終わりました！さあ、中間考査です！

☆ この連休中に元号が「平成」から「令和」になりました。テレビや新聞報道等で「平成」という時代を振り返る場面が沢山ありました。皆さんは平成生まれで、平成の時代の約半分程度を過ごしてきました。残りの半分程度はまだ生まれていませんでしたが、平成という時代がどのような時であったのか、様々な書物などを通して知っておくことは、今後令和という時代を生きていくために大切なことだと思います。

さて、皆さんは充実した連休を送ることができたでしょうか？自信をもって「はい」と返事ができる人はどれくらいいるのでしょうか？私を含め、自分自身に若干甘い部分があるのが一般的だと思うので、なかなか自信をもって「はい」と返事ができる人は少ないかもしれません。しかし、時間は待つてはくれませんが、これは厳然たる事実です。過ぎ去った時間は取り戻すことができませんが、反省をし、次に活かすことができます。この部分が人間の強みではないでしょうか。上に書いた、平成という時代を知る（反省する）ことにより次の令和という時代に活かすことと同じです。

来週は中間考査が実施されます。4月始業式の日から今までどのように学習してきたかがその中で試されます。1年生は初めての定期考査ですが、2、3年生は今まで数々の定期考査を経験しています。恐らくその経験の中で、数々の失敗もあったことでしょう。その経験を次の中間考査に活かしてください！もう一度言います。それができるのが人間の強みなのです。頑張ってください！

挨拶をするということについて

☆ 挨拶について少し考えてほしいことがあります。私は宇佐高校に勤務して3年目になりますが、私が宇佐高校に赴任してきた時より現在の方が挨拶をする生徒が増えた印象があります。本当はまだ増えて欲しいのですが……

皆さんは挨拶の必要性をどのように考えていますか？したい人だけがすればよいと考えていますか？そんなことはありませんよね！道端で見知らぬ誰かに「こんにちは」とか「おはようございます」などと挨拶をされたとき、とても良い気持ちになった経験はありませんか？挨拶はコミュニケーションをとる手段として最高のものだと思います。現在ほどコミュニケーション能力の必要性が問われている時はかつてなかったでしょう。今まであまり挨拶をする習慣がなかった人が挨拶をするようになるのには少しの勇気が必要かもしれませんが、恥ずかしがらずにお互い自然と挨拶ができる環境にしていきたいものです。

挨拶に関して、私が以前勤務していた高校で起こったことを紹介しておきます。A君という生徒がいました。正直に言うと、成績に関してはあまり良い方ではありませんでしたが、挨拶に関しては天下一品でした。廊下で遠くの方から私の姿が見えると大きな声で挨拶をしてくれました。勿論私に対してだけではありません。廊下ですれ違う先生や生徒に対して大きな声で挨拶をしていました。A君は就職希望でしたので、3年次にある有名企業Sの面接試験を受けました。当時は就職氷河期と呼ばれていて、

採用は狭き門でした。企業Sの採用枠は1名で、確かA君を含め10名が受験したと思います。試験当日、面接の控室で10名が面接の準備をしていた時に、ある1人の清掃員が控室に入って来て、清掃を始めました。A君以外の9名は清掃員に目もくれずに、黙々と面接の準備をしていたそうです。しかし、A君だけはその年老いた清掃員に近づき、いつも通り挨拶をしたそうです。面接の結果、合格はA君1人だけでした。後日、企業Sの採用担当の方から電話があり、合格のいきさつについて丁寧に話してくれました。もう、お分かりかもしれませんが、控室にいた清掃員はその企業の社長で、社長はA君の挨拶に感動し、合格を決めたそうです。（勿論面接の内容もよかったということですが）

たかが挨拶、されど挨拶。私は挨拶について考えるとき、A君のことを忘れることはできません。

学習時間は充分でしょうか？

☆ 4月の終わりに第1回学習時間調査を実施しました。以下はその結果です。

（単位は分、小数第1位を四捨五入）

〈学年別平日・休日学習時間〉

学年	1年	2年	3年
平日平均	117	126	141
休日平均	170	170	185

〈教科別平日学習時間〉

教科	国語	数学	英語	理科	地/公	その他
1年	16	48	46	4	2	1
2年	15	62	36	8	3	2
3年	21	40	46	19	11	4

〈教科別休日学習時間〉

教科	国語	数学	英語	理科	地/公	その他
1年	29	64	59	10	5	3
2年	38	56	50	10	12	4
3年	48	40	41	39	14	3

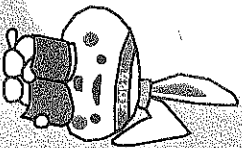
3年生は高校生活最後の県総体ですね！

☆ 部活動をしている生徒にとっては1年間で最も大きな大会ともいえる県総体が近づいています。毎日一生懸命取り組んでいる人ほど結果を求めたくなるのは部活動も勉強も同じだと思います。そこで、少し考えてほしいことがあります。確かに結果は大切なものかもしれませんが、それ以上に大切なものはないでしょうか？例えば、以前部活の中でトラブルが起こりそれを乗り越えた事実、練習試合で大敗し、その悔しさをバネに練習した事実、ある人が困っている時に他の部活生が助けてあげた事実など、そのようなことは部活動生の今後にとって大きな財産となるはずですが、私も結果よりも悔いを残さないように全力を尽くすことに集中してほしいと思っています。怪我無く後悔しないように頑張ってください！

※裏面は進学情報誌「アクセス進学」からの抜粋です。是非お読みください！

知っておきたい 進学費用のこと

大学進学にあたって欠かせないのはお金のこと。授業料に加え、月々の生活費もあるのです。思っていた以上にかかってしまうこともあります。いつ、どれくらいかかるのか、大学4年間で必要になるお金を知り、授業に準備を進めていきましょう。



大学4年間、トータルでいくら必要？

大学生活4年間にかかる主な費用は、下記のとおりです。

<学費>

	国公立大学	私立大学
初年度 <入学金+初年度授業料>	802,800円*1	1,333,418円*2 *施設設備費なども含む
2~4年次 <3年間の授業料合計>	1,562,400円*1	3,244,161円*2
Total	2,365,200円	4,577,579円

*その他のほか、教材費が別にかかる場合があります。

学費は国公立か私立か以外に、どの学部に行くかでも大きく変わってきます。一般的に実験や実習が必要な理系の学部は、設備費や実習費が必要になるので授業料が高くなります。

- *1...文部科学省(国立大学の授業料その他の費用に関する省令(平成十六年文部科学省令第十六号))で定められた「標準額」を記載。
- *2...文部科学省「私立大学等の平成29年度入学者に係る学生納付金等調査」より

支払うタイミングにあわせた準備を

大学進学にかかる費用を見てきましたが、いままでは家で準備してきた費用ですべてまかなえそうでしょうか。4年間トータルに必要な金額は大きいですが、全額を一気に用意する必要はありません。これまで準備してきた教育費、アルバイトなどで稼いだまかなう、奨学金や教育ローンを利用するなど、どのように用意していくか、ご家庭でしっかりと話し合い、対策を立てていきましょう。

ここで気を付けたいのは、必要なタイミングで支払っていく必要がある、ということですね。たとえば、最初にまとまった金額が必要になる入学手続き、このとき期日までに支払いができないとせっかく合格していても入学できなくなってしまいます。学費保険で準備している、奨学金や教育ローンを利用する場合、お金の振り込みのタイミングを確認するのを忘れないでください。もし入学後になっていたら、学費はそれでカバーできるとしても、入学手続きにかかる費用は自分たちでなんとかする必要があるかもしれません。

まずは学校独自の奨学金制度を調べてみる

学生の経済的な負担を少しでも軽くするために、多くの大学が独自の奨学金制度を設けています。奨学金には、返済する必要のない給付型と返済義務のある貸与型があり、学校によって制度はさまざまですので、まずは進学を考えている学校にどんな制度があるのか調べてみてください。

学校独自に設けられている奨学金の一例

- 入学試験の優秀者に与えられる奨学金
入学試験(優秀な成績をおさめた人を特待生として、学費が免除あるいは減免されたり、学費に相当する金額が給付されます。)
- 前年度の学業成績優秀者に与えられる奨学金
前年度の学業(優秀な成績をおさめた人)に対して、学費が免除あるいは減免されたり、学費に相当する金額が給付されます。
- なんらかの事情により学費の支払いが難しくなった人に与えられる奨学金
経済的な事情により、学費を滞らせることが難しくなった人を対象にしたもので家計支持者の収入が基準以下の場合など、所要条件を満たした人に与えられます。

まだまだある！ その他の奨学金

進学したい学校に、条件に合う利用できそうな奨学金がなくても、諦めることはありません。下記のような機関が設けている奨学金制度があります。

大学4年間の平均学費(学部別)

私立医療系	学費が高い
医学部 2363万円(6年制) 歯学部 2291万円(6年制)	医学部 1078万円(6年制)
薬学部 576万円	芸術学部 518万円
看護学部 518万円	理学部・工学部 516万円
看護学部・保健学部 518万円	農学部・獣医学部 491万円(獣医学部は6年制だがここでは4年間で計算)
理学部 440万円	体育学部 424万円
家政学部 424万円	文学部・教育学部 404万円
私立文系	社会科学部 393万円
	法学部・商学部 経済学部 391万円
国公立大学	神道学部・仏教学部 377万円

文部科学省 平成28年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等調査(定員1人当たりの調査結果を中位に作成)

<生活費>

ひとり暮らしの場合

初期費用(敷金・礼金、仲介手数料、火災保険、引っ越し費用、家具家電購入費など)・・・620,000円(※3)
+生活費(家賃、食費、水光熱費、交際費など)・・・149,000円×12か月×4年=7,152,000円(※3)

実家の場合

個人差は大きいですが、だいたいはひとり暮らしの場合の半分程度

ひとり暮らしをスムーズにスタートし、お得にするには、食費・家具付きの学生会館・ドミーを利用する方法もあります。その場合は、

- ひとり暮らしをはじめするための初期費用(4年総額)
▽入居費(保証金、年間管理費、保険料、引っ越し費用など)・・・501,000円(※3)
- 生活費(家賃(朝夕の食事込み)、食費、水光熱費、交際費など)
・・・135,000円×12か月×4年=6,480,000円(※3)

初期費用も含めて4年間で6,981,000円
一般的にひとり暮らしの場合は7,772,000円なので4年間で791,000円お得！

- *3...共立メンテナンス学生会館GUIDE(<https://www.gakuseikaikan.com/>)より
費用は一例です。居室タイプや契約年数などにより異なります。



貸与型奨学金は未来まで続く借金

返済義務のない給付型と異なり、貸与型の奨学金を利用した場合は将来返済が必要のある借金をすることになります。たとえば、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を利用した場合は、学校卒業後、最長20年かかってお金を返していくこととなります。ここ数年、奨学金を借りて進学したばかりのものの、卒業後に返済することができなくなってしまう人が出てきて社会問題になっていきます。返済が滞ったり不可能になったりするとクレジットカードやカーローンが組めなくなるといった影響を落とす問題にもなりかねません。まずは借りずに済むようにやりくりし、どうしても利用する必要がある場合は最小限の利用で済むようにしたいものです。

奨学金利用を考えると、注意したいこと

絶対にやめてほしいのは、手続きからはじまりすべてを保護者に任せきりにし、本人は何もしないこと。実際に借りたお金で勉強をするのは進学する本人だし、それを返していくのも進学者自身。人生の先輩として保護者の知恵や経験を借りるのはいいけれど、必ず本人が自分自身で調べ、よく考えて決めること。
卒業後は生活するのにいくらお金が必要なのか、手元に残るお金のなかから毎月奨学金の返済のため支払わなければならない額など、リアルなお財布事情をまずは把握しましょう。その上で結婚や家の購入のことなど、卒業後のさらにはその先を見据えながら、月々の貸与額や利率をどうするか、返済プランまでしっかりと考えて決めてください。

奨学金利用時に考えておきたいこと

- 手続きなど、すべてを保護者がやってしまうわない。
- 卒業後、返済がはじまった後のお財布事情をコミュニケーションしながら、月々の貸与額や利率を決める。(※借りるお金は必要最小限に)
- 返済できなくなったときのペナルティは大きい。
- 自分だけでは理解できないことがあったら、保護者や先生など大人の知恵を借りる。

